混合加里肥料　生第 102598 号

水稲追肥用投げ込み肥料

メイトー なげこみ

はっぽう 八泡くん

日本の米作りに
英知と勇気を！

1Kg入
(40g×25包)

中干し7日～10日前に田んぼのアゼから投げ込むだけ！

- カリとケイ酸の追肥省力化に
- 米の食味と品質向上に
- 高温障害・悪天候対策に

MCE 名東ケミカルエンジニアリング株式会社
名古屋市中区錦1-13-19 名錦ビル 4階
H　P：https://meito-chem.co.jp/
TEL 052(218)6023

水稲追肥用投げ込み肥料

メイトーなげこみ

八泡くん（はっぽう）

入目：1Kg（40g×25包）アルミ袋封入

＜保証成分値＞

水溶性カリ	可溶性ケイ酸	水溶性ホウ素
20%	10%	0.5%

＜　特　長　＞

① 水溶性カリと可溶性ケイ酸により稲の発根と分げつを促します。
② 籾の栄養不足による胴割れ米やシラタの発生を減少させます。
③ 登熟度合いが高くなり、食味が向上するとともに収量も増加します。
④ 省力化に貢献する、扱いやすい水溶性投げ込みパックタイプです。

＜使用方法＞

使用時期	使用量	注意点
水稲の最高分げつ期 （移植後40日～50日） または 出穂 14日～30日前 （入水中）	1Kg / 10アール （25包～50包） 圃場に均一に投げ込む	水田圃場の周囲から均一に投げ込む。 水深5cm以上で使用すること。 投げ込み後、4日は止水すること。

＜カリとケイ酸を追肥する必要性＞

水稲におけるカリはタンパク質の合成に必要で、一生のうちで窒素含量が最も高い最高分げつ期と幼穂形成初期に欠乏が起きやすいことが知られています。一方でケイ酸の吸収量は幼穂形成期以降に多く、その吸収量は60%を占め、移植期から有効分げつ期までの水稲のケイ酸吸収速度は遅いのですが、幼穂形成期以降から成熟期まではケイ酸吸収速度が高まり、この時期には最も珪酸を吸収するといわれています。

こうしたことから、この幼穂形成期にカリとケイ酸を合わせて効かせることが、収量や食味・品質を良くするためには有効なのです。

今までは粒状肥料を圃場に入って散布しなければならず、夏の暑い中での作業は大変な労力を必要とします。省力化の選択肢が無い中で、やがて追肥を行わないという選択をしなければならなかったのですが、本材は水稲投げ込み除草剤のアイデアを応用して、高成分の粉末肥料を投げ込みパック化することで追肥の省力化とお米の品質向上と増収に貢献します。